

キリンググループ 2014年12月期第2四半期決算

2014年8月6日

キリンホールディングス株式会社

<上半期総括>

- 豪州酒類事業の業績好調等により、営業利益は概ね年初計画どおりの進捗
- 日本・ブラジルにおいて販売が計画未達
 - （日本）消費増税後の需要獲得の遅れ等により、ビール類の販売数量が減少
 - （ブラジル）低プレゼンス地域の顧客接点を拡大するも、競争激化により、基盤エリアでの販売が減少
- 資本効率向上・株主還元施策の一環として、約1,600万株の自己株式取得を実施

<下半期方針>

- 上半期の販売状況を踏まえ、日本・ブラジルの通期計画を下方修正するが、豪州及び医薬・バイオケミカル事業によりカバーし、年初利益計画の達成を目指す
- 計画達成にむけ、各事業課題への取り組みを一層加速させる
 - （日本）「一番搾り」をはじめとする重点ブランドの強化
 - （ブラジル）主力ブランドの強化、低プレゼンス地域における顧客接点拡大
 - （ライオン）持続的成長の実現に向けた飲料事業の構造改革プランの実行
- 利益計画の達成により、平準化EPSを着実に向上させ、株主還元の強化を図る

第2四半期実績

KIRIN

- 豪州酒類事業の好調等により、営業利益は概ね年初計画どおりの進捗

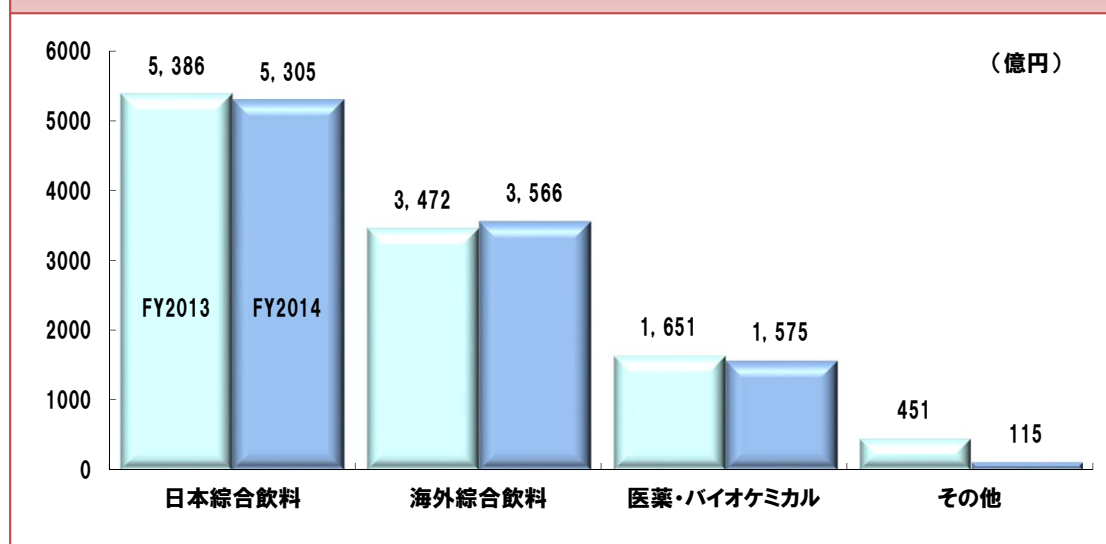
(億円)	FY2014 実績	FY2014 年初計画	FY2013 実績	対前年増減	
売上高	10,562	11,000	10,962	△399	△3.6%
営業利益	502	470	604	△101	△16.8%
経常利益	451	—	557	△106	△19.0%
四半期純利益	140	—	※596	△456	△76.5%

※フレイザー・アンド・ニーヴ社株式売却益462億円を特別利益として計上

第2四半期実績（セグメント別概況）

KIRIN

売上高



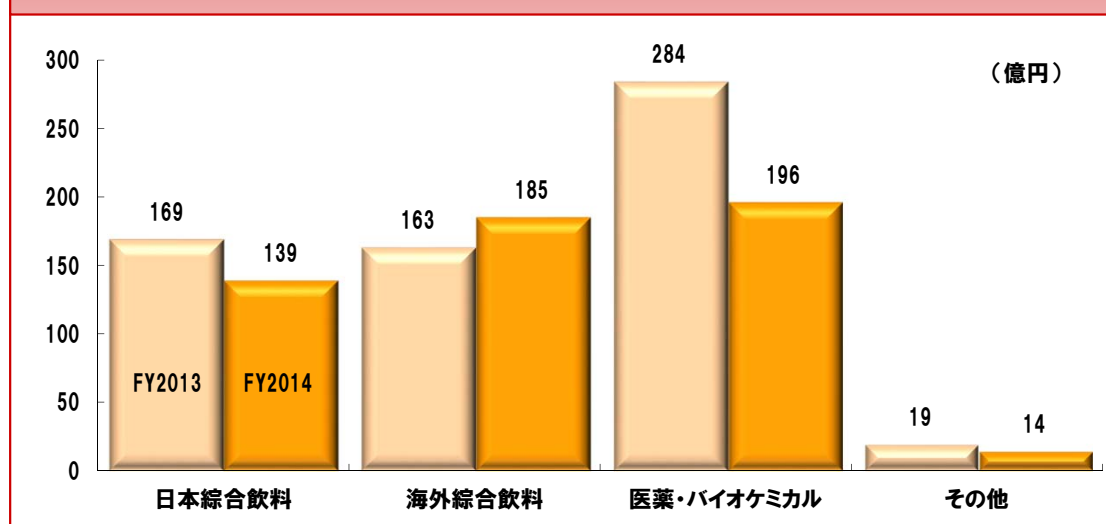
◆日本総合飲料（減収・減益）

- ビール類の販売数量減
- 清涼飲料の商品ミックス悪化

◆海外総合飲料（増収・増益）

- 豪州酒類事業の業績好調
- ブラジルにおける販売単価の上昇

営業利益



◆医薬・バイオケミカル（減収・減益）

- 薬価基準引き下げによる影響
- 技術収入の減少

◆その他（減収・減益）

- キリン協和フーズ社連結除外

- 利益計画の達成により、平準化EPSを着実に向上させ、株主還元の強化を図る

(億円)	FY2014	年初計画	年初差異	対前年増減	
売上高	22,600	22,900	△300	+54	+0.2%
営業利益	1,400	1,400	—	△28	△2.0%
経常利益	1,220	1,220	—	△101	△7.7%
当期純利益	490	490	—	△366	△42.8%

(定量目標)

	FY2014	FY2012	CAGR	中計目標
平準化EBITDA	2,970億円	3,073億円	△1.7%	年平均一桁台半ば(%)の成長
平準化EPS	131円	117円	+5.8%	年平均一桁台後半(%)の成長

通期計画（営業利益内訳）

KIRIN

- 上半期の販売状況を踏まえ、日本・ブラジルの通期計画を下方修正するが、豪州及び医薬・バイオケミカル事業によりカバーし、営業利益は年初計画1,400億円の達成を目指す

（億円）	通期計画	年初計画	年初差異
キリン	615	635	△20
ライオン	267	251	+16
ブラジルキリン	70	119	△49
協和発酵キリン	480	440	+40
全社・消去・その他	△33	△45	+12
合計	1,400	1,400	—

(億円)	2Q実績	対前年増減	通期計画	対前年増減	年初計画	年初差異
売上高	5,305	△1.5%	11,890	+0.7%	12,100	△210
キリンビール	3,177	△4.8%	7,143	△2.0%	7,290	△146
キリンビバレッジ	1,614	+1.1%	3,652	+3.3%	3,727	△75
メルシャン	324	+3.9%	706	+5.3%	710	△4
営業利益	139	△18.1%	615	△1.0%	635	△20
キリンビール	137	△18.1%	509	△1.7%	543	△34
キリンビバレッジ	△49	—	11	△35.3%	28	△17
メルシャン	△2	—	12	+227.2%	12	—

<上半期総括>

●消費増税後の需要獲得の遅れ等により、ビール類の販売数量が減少、減収・減益

- 最重要ブランド「一番搾り」（対前年△0.4%）は、お客様接点の拡大により、家庭用市場（缶）での販売が増加。回復トレンドの安定化と、業務用市場の強化が課題
- 「のどごし生」の販売数量減少が継続（対前年△3.0%）、店頭露出と販促施策の改善が課題
- 「氷結」を中心にRTDが好調に推移（対前年+15.1%）

<下半期方針>

●上半期の販売状況を踏まえ通期計画を下方修正するが、下半期の販売強化と年初計画を上回るコスト削減により達成を目指すとともに、来期以降の持続的成長も見据え、長期視点でのブランド育成に一貫して取り組む

- 「一番搾り」「淡麗グリーンラベル」「のどごし生」など重点ブランドの販売を更に強化
- 「世界のキッチンから」「メッツコーラ」の育成を加速、飲料の収益性の早期改善を目指す

◆お客様接点の拡大によりブランドプレゼンスが向上

<ギフト>

「一番搾りプレミアム」好調
中元期の販売目標を約2倍に上方修正
歳暮期での更なるプレゼンス拡大を図る



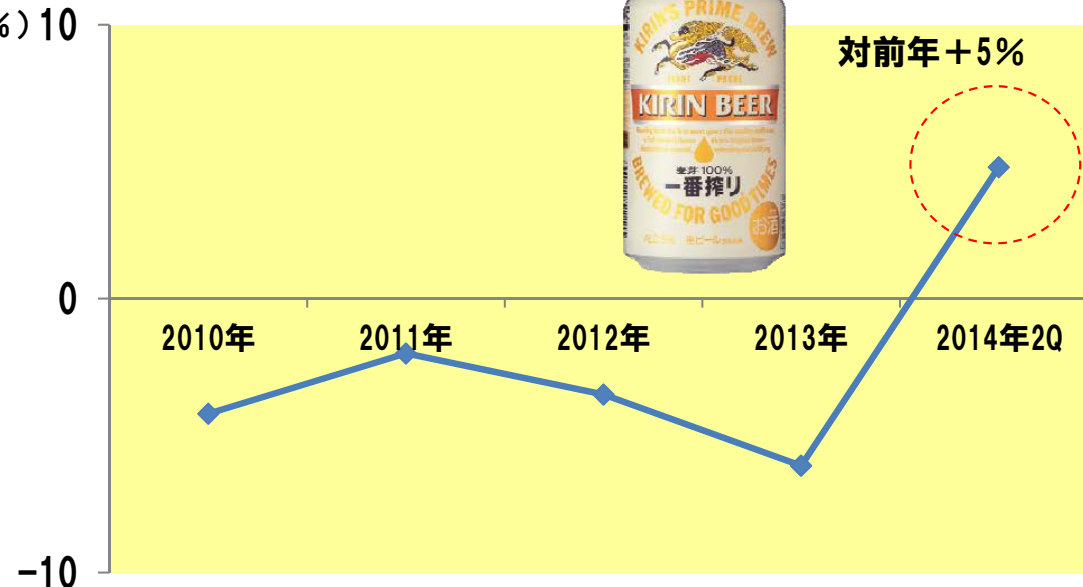
<コンセプトショップ>

東京・大阪・仙台・福岡で展開中



<一番搾り（缶）の前年比推移>

(%) 10

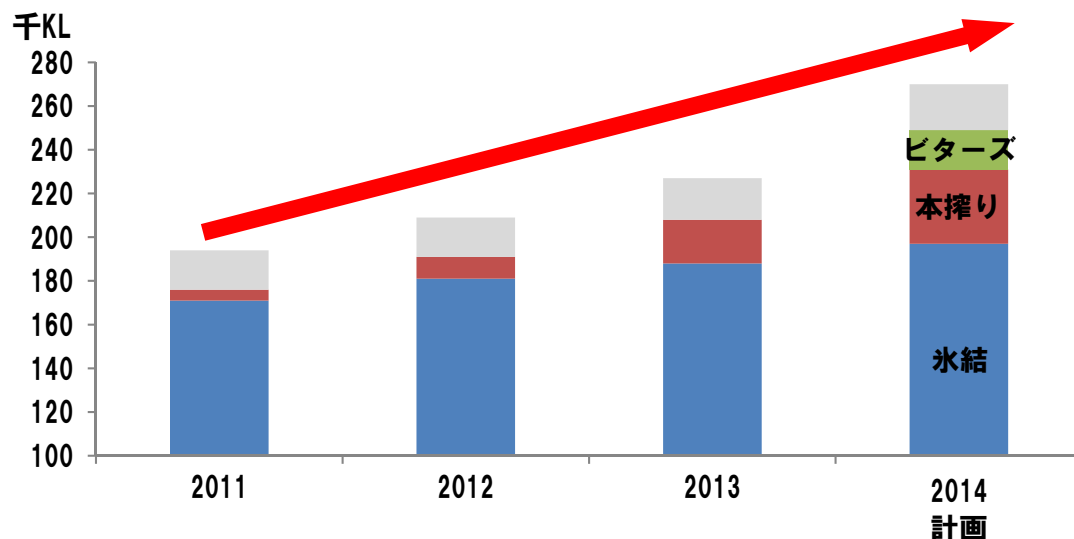


●下半期も取り組みを強化 「一番搾り とれたてホップ生ビール」



- ・ 10月28日発売
- ・ 販売計画 8,500KL
(対前年+3.8%)

◆成長が続くRTD市場において、強力なブランドポートフォリオを構築



福島産和梨果汁を使用した期間限定品を全国で発売（11月）

◆高付加価値商品の提案を強化

「SPRING VALLEY BREWERY」プロジェクト、始動 ～新しいビール文化の創造～

- ・「SPRING VALLEY BREWERY」ブランド
自然と共存したイノベティブな
クラフトビールづくりへの挑戦
- ★試作品を限定テスト販売→
(9月下旬)
- ・新規ブルワリーの開設と
併設店舗でのビール体験の提供
- ・ビールを介した新しいコミュニティ、
ネットワークの創造



好調なグランド麒麟

ハードシードルの展開を拡大

取扱店舗を着実に拡大
販売好調を受け9月に壺を発売



◆ワインの販売が好調に推移（対前年+5%）

「おいしい酸化防止剤無添加ワイン」をはじめ、
ボリュームゾーンの低価格ワインが好調

新提案「フランジア・ワインフローズン」を展開



コンセプトショップ

「シャトー・メルシャン トーキョーゲストバル」

- ・来店者数が25000人を突破
- ・シャトー・メルシャンの販売が対前年約1割増



◆重点ブランド「世界のキッチンから」が好調

下半期も展開を更に強化



(億円)	2Q実績	対前年増減	通期計画	対前年増減	年初計画	年初差異
売上高	883	+5.1%	2,062	+15.7%	2,159	△96
のれん等償却前営業利益	2	+98.1%	154	+74.5%	201	△47
営業利益	△39	—	70	>999%	119	△49
EBITDA	65	△16.6%	279	+31.6%	352	△73

<上半期総括>

●販売競争が激化するも、販売単価の維持に努め、増収・増益

- 主力ブランドの強化・低プレゼンス地域への展開拡大を着実に推進
- FIFAワールドカップに伴う価格競争の激化等により、販売数量が減少・計画未達

<下半期方針>

●上半期の販売状況を踏まえ通期計画を下方修正するが、来期以降の持続的成長も見据え、競争力・収益力の強化に引き続き取り組む

- 主力ブランドの強化と低プレゼンス地域における顧客接点の拡大を継続
- エリア特性に対応したチャネル・商品・施策の最適化による収益性の向上
- サプライチェーンの更なる効率化を推進



◆主力ビールブランド新・SCHINの着実な浸透



パッケージ刷新により視認性も格段に向上



低プレゼンス地域における展開を拡大

◆ブラジル版メッツコーラ・Fibzの展開地域拡大 ～最大市場サンパウロに上市～



◆「一番搾り」の現地製造・販売を開始 ～日本食レストランを中心に取り扱いを拡大～



(億円)	2Q実績	対前年増減	通期計画	対前年増減	年初計画	年初差異
売上高	2,483	+1.5%	4,735	+1.1%	4,735	△0
酒類	1,378	+4.8%	2,588	+5.7%	2,521	+66
飲料	1,105	△2.4%	2,146	△3.9%	2,214	△67
のれん等償却前営業利益	390	+5.3%	619	△2.3%	600	+19
酒類	402	+7.9%	690	+4.0%	682	+7
飲料	28	△30.2%	34	△53.6%	33	+0
本社費用	△41	—	△104	—	△116	+11
営業利益	216	+8.4%	267	△7.0%	251	+16

<上半期総括>

●豪州酒類事業の業績好調により、ライオン社全体で増収・増益を達成

- クラフトビール、輸入プレミアムビール等、高価格帯商品の販売が引き続き好調に推移
- 豪州No.1ビール XXXX-Gold も堅調

<下半期方針>

●ライオン社全体で着実に通期計画を達成する

- 酒類・飲料各事業における着実な年初計画の達成と間接費用の削減
- 持続的成長の実現に向けた飲料事業の新たな構造改革プランの実行



(億円)	2Q実績	対前年増減	通期計画	対前年増減	年初計画	年初差異
売上高	1,575	△4.6%	3,280	△1.0%	3,260	+20
医薬	1,189	△7.9%	2,510	△3.3%	2,482	+28
バイオケミカル	429	+6.0%	860	+6.1%	888	△28
営業利益	196	△30.8%	480	△11.7%	440	+40
医薬	141	△41.2%	370	△19.8%	330	+40
バイオケミカル	42	+36.0%	80	+41.1%	80	—
その他	12	+4.5%	30	+18.4%	30	—

<上半期総括>

- 医薬事業は、薬価基準引き下げの影響や技術収入の減少により減収減益
- バイオケミカル事業は、ジェネリック医薬品原薬等が伸長し増収増益

<下半期方針>

- 薬価基準の引き下げに伴う影響に対する期初予想策定時との乖離や、販売費および一般管理費の節減効果により、通期計画を上方修正

- 今期業績は、日本・ブラジルの下方修正を豪州及び医薬・バイオケミカル事業によりカバーし、年初利益計画の達成を目指す
- 中計前半において、強いブランドの育成をはじめとする重点課題への取り組みを着実に推進するも、日本・ブラジルにおける販売数量の計画未達の継続や、豪州飲料事業の減益等、中計で想定した成長ペースと乖離が発生
- こうした現状を踏まえ、中計後半および2016年以降における持続的成長の実現に向け中長期の視点で計画を策定し、2015年計画に反映していく
- 資本効率の向上・株主還元の強化にも、継続して取り組んで行く

KIRIN

**この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。**

This material is intended for informational purposes only and is not a solicitation or offer to buy or sell securities or related financial instruments.

**2014年12月期
第2四半期連結業績・通期業績予想**

第2四半期 連結業績サマリー

KIRIN

(単位：億円)

	2014年 第2四半期	2013年 第2四半期	対前年増減	
売上高	10,562	10,962	△399	△3.6%
売上総利益	4,517	4,663	△145	△3.1%
販売費及び一般管理費	4,014	4,058	△44	△1.1%
営業利益	502	604	△101	△16.8%
営業外収益	99	87	11	13.2%
営業外費用	150	134	16	11.9%
経常利益	451	557	△106	△19.0%
特別利益	16	634	△618	△97.4%
特別損失	69	182	△113	△61.9%
税金等調整前四半期純利益	397	1,009	△611	△60.6%
法人税等	188	307	△119	△38.9%
少数株主利益	69	104	△35	△33.8%
四半期純利益	140	596	△456	△76.5%
平準化EBITDA	1,265	1,388	△123	△8.9%
平準化EPS	54円	51円	3円	5.9%
売上高（酒税抜き）	9,200	9,554	△354	△3.7%
営業利益（のれん等償却前）	781	881	△100	△11.4%
営業利益率（対酒税抜き・のれん等償却前）	8.5%	9.2%		

第2四半期 日本綜合飲料

KIRIN

(単位：億円)

	2014年 第2四半期	2013年 第2四半期	対前年増減	
売上高	5,305	5,386	△80	△1.5%
キリンビール	3,177	3,336	△159	△4.8%
キリンビバレッジ	1,614	1,597	17	1.1%
メルシャン	324	312	12	3.9%
その他・内部取引消去	188	140	48	34.2%
営業利益	139	169	△30	△18.1%
キリンビール	137	168	△30	△18.1%
キリンビバレッジ	△39	△37	△2	—
のれん償却額	△9	△9	—	—
計	△49	△47	△2	—
メルシャン	△2	0	△3	—
その他	53	47	5	11.2%

		2014年 第2四半期	2013年 第2四半期	対前年増減
ビール	千KL	289	299	△3.2%
発泡酒	千KL	230	247	△6.9%
新ジャンル	千KL	304	335	△9.2%
計	千KL	824	881	△6.5%
RTD	千KL	116	101	15.1%
ノンアルコール飲料	千KL	13	18	△26.6%
清涼飲料	万ケース	9,255	9,084	2%

第2四半期 日本綜合飲料（営業利益増減）

KIRIN

（単位：億円）

会社名	要因	対前年増減	内容
麒麟ビール	酒類限界利益減	△58	ビール販売数量減 △10千kl △14億 発泡酒販売数量減 △17千kl △18億 新ジャンル販売数量減 △31千kl △34億 R T D販売数量増 15千kl 15億 品種構成による差異 他
	原材料コストダウン	3	麦芽コストアップ △4億、包材コストダウン 7億 他
	販売費増	△3	販売促進費・広告費増 △4億 他
	その他費用減	28	（ビール・発泡酒・新ジャンル △11億、R T D △13億 他） 減価償却費減 15億、人件費 12億 他
	計	△30	
麒麟ビバレッジ	数量差異	18	販売数量増 171万ケース
	原材料等コストダウン	0	原料コストアップ △4億、包材コストダウン 8億 他
	容器構成差異等	△29	
	販売費減	9	販売促進費・広告費減 9億
	その他費用	0	マネジメントフィ増 △3億 他
	計	△2	

第2四半期 海外総合飲料① ライオン

KIRIN

		2014年 第2四半期		2013年 第2四半期		対前年増減		対前年増減（％）	
		億円	百万AUD	億円	百万AUD	億円	百万AUD	円へーズ	AUDへーズ
売上高	酒類	1,378	1,484	1,315	1,445	63	38	4.8%	2.7%
	飲料	1,105	1,189	1,132	1,243	△26	△54	△2.4%	△4.3%
		2,483	2,674	2,447	2,689	36	△15	1.5%	△0.6%
のれん等償却前営業利益	酒類	402	433	373	409	29	23	7.9%	5.7%
	飲料	28	31	41	45	△12	△14	△30.2%	△31.6%
	本社費用	△41	△44	△43	△48	2	3		
のれん償却額		390	420	370	407	19	13	5.3%	3.2%
ブランド償却額		△153	△165	△150	△164	△3	△0		
営業利益		△20	△21	△20	△22	0	1		
営業利益		216	233	199	219	16	13	8.4%	6.2%

連結期間: 2013年10月～2014年3月、為替レート: 92.88円(前年同期: 91.01円)

酒類	営業利益増減 (百万AUD)	飲料
409	2013年	45
△13	販売数量増減	△9
37	その他	△5
433	2014年	31

	販売数量 (対前年)
酒類	△2.5%
飲料	△3.2%

第2四半期 海外総合飲料② ブラジルキリン

KIRIN

	2014年 第2四半期		2013年 第2四半期		対前年増減		対前年増減（％）	
	億円	百万リアル	億円	百万リアル	億円	百万リアル	円ベース	リアルベース
売上高	883	1,970	840	1,798	43	172	5.1%	9.6%
のれん等償却前営業利益	2	6	1	3	1	3	98.1%	106.4%
のれん償却額	△26	△59	△27	△59	1	—		
ブランド償却額	△15	△34	△16	△34	0	—		
営業利益	△39	△87	△42	△91	3	3	—	—
EBITDA	65	146	78	167	△13	△21	△16.6%	△12.6%

連結期間：2014年1月～6月、為替レート：44.82円（前年同期：46.72円）

	販売数量 （対前年）
ビール	△2.8%
清涼飲料	△4.0%
合計	△3.2%

・粗利の増加（+\$R113M）：

製造原価の上昇を、値上げによる単価UPとサプライチェーンの効率化により対応

・販売費及び一般管理費の増加（▲\$R110M）：

①最盛期における販売ボリューム最大化に向けた戦略的ブランド投資

②競合による低価格攻勢への対応

※参考：市場（SICOBÉ）

ビール：+11.5%

清涼飲料：+1.2%

第2四半期 医薬・バイオケミカル、その他の事業

KIRIN

(1) 医薬・バイオケミカル

(単位：億円)

	2014年 第2四半期	2013年 第2四半期	対前年増減	
売上高	1,575	1,651	△76	△4.6%
協和発酵キリン	1,618	1,697	△78	△4.6%
医薬	1,189	1,292	△102	△7.9%
バイオケミカル	429	405	24	6.0%
その他・内部取引消去	△43	△45	1	—
営業利益	196	284	△87	△30.8%
協和発酵キリン（連結組替後）	196	284	△87	△30.8%
医薬	141	241	△99	△41.2%
バイオケミカル	42	31	11	36.0%
その他・のれん償却額消去	43	43	0	1.3%
のれん償却額	△31	△31	—	—

(2) その他の事業

	2014年 第2四半期	2013年 第2四半期	対前年増減	
売上高	115	451	△335	△74.4%
営業利益	14	19	△4	△0.6%

(3) 全社費用・セグメント間取引消去

	2014年 第2四半期	2013年 第2四半期	対前年増減	
営業利益	△33	△33	0	—

第2四半期 営業外損益・経常利益

KIRIN

(単位：億円)

	2014年 第2四半期	2013年 第2四半期	対前年増減
営業利益	502	604	△101
営業外損益	△51	△47	△4
金融収支	△68	△69	1
持分法による投資損益	28	9	19
サンミゲルビール	28	44	△15
その他	0	△34	34
為替差損益	△7	3	△11
その他	△5	8	△13
経常利益	451	557	△106

第2四半期 特別損益・四半期純利益

KIRIN

(単位：億円)

	2014年 第2四半期	2013年 第2四半期	対前年増減
経常利益	451	557	△106
特別損益	△53	452	△505
特別利益	16	634	△618
固定資産売却益	10	158	△147
投資有価証券売却益	1	469	△468
その他	4	7	△2
特別損失	△69	△182	113
固定資産除却損	△13	△14	1
固定資産売却損	△3	△8	5
減損損失	—	△2	2
投資有価証券評価損	△0	△0	△0
投資有価証券売却損	△0	△0	△0
事業構造改善費用	△41	△32	△8
在外子会社税制特別措置 適用支払金	—	△88	88
その他	△11	△36	25
法人税等	△188	△307	119
少数株主利益	△69	△104	35
四半期純利益	140	596	△456

通期業績予想

KIRIN

(単位：億円)

	2014年 通期 (期央予想)	2013年 通期 (実績)	期央対前年増減	
売上高	22,600	22,545	54	0.2%
営業利益	1,400	1,428	△28	△2.0%
営業外損益	△180	△106	△73	—
金融収支	△149	△142	△7	—
持分法による投資損益	1	16	△14	△89.8%
経常利益	1,220	1,321	△101	△7.7%
特別損益	△110	250	△360	△143.9%
税金等調整前当期純利益	1,110	1,572	△462	△29.4%
法人税等	478	532	△54	△10.1%
少数株主利益	141	182	△41	△22.7%
当期純利益	490	856	△366	△42.8%
平準化EBITDA	2,970	3,014	△44	△1.5%
平準化EPS	131円	122円	9円	7.4%
売上高（酒税抜き）	19,510	19,437	72	0.4%
営業利益（のれん等償却前）	1,961	1,980	△19	△1.0%
営業利益率（対酒税抜き・のれん等償却前）	10.1%	10.2%		
平準化ROE	10.6%	10.9%		
純有利子負債／平準化EBITDA	2.33	2.25		

2014年 通期 (年初予想)	期央対年初 増減
22,900	△300
1,400	—
△180	—
△144	△5
△30	31
1,220	—
△110	—
1,110	—
478	△0
141	0
490	—
3,020	△50
129円	2円
19,800	△290
1,954	7
9.9%	
10.6%	
2.15	

定量目標明細

(平準化EBITDA)

(億円)

	2014年目標		2014年2Q (実績)	2013年2Q (実績)
	(期央)	(年初)		
営業利益	1,400	1,400	502	604
減価償却費	990	1,042	471	495
のれん償却額	489	480	242	240
持分法適用関連会社からの受取配当金	95	91	48	48
平準化EBITDA	2,970	3,020	1,265	1,388

(平準化EPS)

(億円)

	2014年目標		2014年2Q (実績)	2013年2Q (実績)
	(期央)	(年初)		
当期純利益	490	490	140	596
のれん等償却額	664	655	330	326
税金等調整後特別損益	53	57	27	△432
平準化当期純利益 ①	1,208	1,202	498	490
期中平均株式数(千株)②	918,646	929,340	923,982	956,063
平準化EPS(円)①÷②	131	129	54	51

通期業績予想 日本総合飲料

KIRIN

(単位：億円)

	2014年 通期 (期央予想)	2013年 通期 (実績)	期央対前年増減		2014年 通期 (年初予想)	期央対年初 増減
売上高	11,890	11,801	88	0.7%	12,100	△210
キリンビール	7,143	7,291	△148	△2.0%	7,290	△146
キリンビバレッジ	3,652	3,535	116	3.3%	3,727	△75
メルシャン	706	670	35	5.3%	710	△4
その他・内部取引消去	388	304	84	27.7%	372	16
営業利益	615	621	△6	△1.0%	635	△20
キリンビール	509	518	△8	△1.7%	543	△34
キリンビバレッジ	31	37	△6	△16.3%	48	△17
のれん償却額	△19	△19	—	—	△19	—
計	11	17	△6	△35.3%	28	△17
メルシャン	12	3	8	△227.2%	12	—
その他	81	81	0	0.1%	50	31

	2014年 通期 (期央予想)	2013年 通期 (実績)	期央対前年 増減
ビール 千KL	667	672	△0.7%
発泡酒 千KL	501	522	△3.9%
新ジャンル 千KL	680	714	△4.7%
計 千KL	1,850	1,909	△3.1%
RTD 千KL	261	227	15.1%
ノンアルコール飲料 千KL	27	38	△27.9%
清涼飲料 万ケース	20,870	20,156	4%

通期業績予想 日本綜合飲料（営業利益増減）

KIRIN

（単位：億円）

会社名	要因	対前年増減	内容
麒麟ビール	酒類限界利益減	△51	ビール販売数量減 △5千kl △6億 発泡酒販売数量減 △21千kl △22億 新ジャンル販売数量減 △34千kl △38億 RTD販売数量増 34千kl 32億 品種構成による差異 他
	原材料コストダウン	7	包材コストダウン 他
	販売費増	△10	販売促進費・広告費増 △10億 他
	その他費用減	45	減価償却費減 28億、人件費減 25億、 広報費増 △2億、研究開発費増 △3億 他
	計	△8	
麒麟ビバレッジ	数量差異	78	販売数量増 714万ケース
	原材料等コストダウン	6	原料コストアップ △10億、包材コストダウン 10億 PET飲料自製率向上 5億 他
	容器構成差異等	△27	
	販売費増	△44	販売促進費・広告費増 △40億、運搬費増 △4億
	その他費用増	△18	マネジメントフィ増 △6億、情報システム費増 △3億、 研究開発費増 △3億 他
	計	△6	

通期業績予想 海外総合飲料① ライオン

KIRIN

		2014年通期 (期央予想)		2013年通期 (実績)		対前年増減		対前年増減 (%)		期央対年初増減	
		億円	百万AUD	億円	百万AUD	億円	百万AUD	円へーズ	AUDへーズ	億円	百万AUD
売上高	酒類	2,588	2,753	2,449	2,663	138	89	5.7%	3.4%	66	41
	飲料	2,146	2,283	2,234	2,429	△87	△146	△3.9%	△6.0%	△67	△96
		4,735	5,037	4,684	5,093	50	△56	1.1%	△1.1%	△0	△55
のれん等償却前営業利益	酒類	690	734	663	721	26	12	4.0%	1.8%	7	—
	飲料	34	36	73	79	△39	△43	△53.6%	△54.6%	0	—
	本社費用	△104	△111	△102	△111	△1	0			11	13
のれん償却額		△310	△330	△303	△330	△6	△0			△4	△0
ブランド償却額		△41	△43	△42	△45	0	2			1	2
営業利益		267	284	287	313	△20	△28	△7.0%	△9.1%	16	14

連結期間: 2013年10月～2014年9月、為替レート: 94.00円(前年同期: 91.97円、年初: 93.00円)

通期業績予想 海外総合飲料② ブラジルキリン

KIRIN

	2014年通期 (期央予想)		2013年通期 (実績)		対前年増減		対前年増減(%)		期央対年初増減	
	億円	百万レアル	億円	百万レアル	億円	百万レアル	円ベース	レアルベース	億円	百万レアル
売上高	2,062	4,584	1,783	3,947	279	636	15.7%	16.1%	△96	△323
のれん等償却前営業利益	154	344	88	196	66	147	74.5%	75.2%	△47	△115
のれん償却額	△53	△118	△53	△118	0	—			△1	—
ブランド償却額	△31	△69	△31	△69	0	—			△0	—
営業利益	70	155	3	7	66	147	>999	>999	△49	△115
EBITDA	279	620	212	470	67	150	31.6%	31.9%	△73	△180

連結期間: 2014年1月～12月、為替レート: 45.00円(前年同期: 45.18円、年初: 44.00円)

通期業績予想 医薬・バイオケミカル、その他の事業

KIRIN

(1) 医薬・バイオケミカル

(単位：億円)

	2014年 通期 (期央予想)	2013年 通期 (実績)	期央対前年増減		2014年 通期 (年初予想)	期央対年初 増減
売上高	3,280	3,313	△33	△1.0%	3,260	20
協和発酵キリン	3,370	3,406	△36	△1.1%	3,370	—
医薬	2,510	2,595	△85	△3.3%	2,482	28
バイオケミカル	860	810	49	6.1%	888	△28
その他・内部取引消去	△90	△92	2	—	△110	20
営業利益	480	543	△63	△11.7%	440	40
協和発酵キリン（連結組替後）	480	543	△63	△11.7%	440	40
医薬	370	461	△91	△19.8%	330	40
バイオケミカル	80	56	23	41.1%	80	—
その他・のれん償却額消去	92	87	4	5.3%	92	—
のれん償却額	△62	△62	—	—	△62	—

(2) その他の事業

	2014年 通期 (期央予想)	2013年 通期 (実績)	期央対前年増減		2014年 通期 (年初予想)	期央対年初 増減
売上高	230	577	△347	△60.2%	240	△10
営業利益	30	37	△7	△20.0%	30	—

(3) 全社費用・セグメント間取引消去

	2014年 通期 (期央予想)	2013年 通期 (実績)	期央対前年増減		2014年 通期 (年初予想)	期央対年初 増減
営業利益	△75	△80	5	—	△85	10